

設 立 趣 旨 書

◇初めて小学校の門をくぐり、小中高大学と16年間にわたり、社会人への準備期間を過ごしその後、30年～40年と仕事を通じてまた子育てを通じて社会の中核として活躍してきた大人たち。今次世代へバトンを渡そうとしている

◇人生100年時代を迎え、退職後や子育て後にも同じ長さである30年～40年の人生がある日本人にとって、もう一度『小学校』の門をくぐり、自分たちの生き方を学びなおす必要があるのではないか？

◇定年を控えた多くのサラリーマンは多くの課題に直面する

- 1) 膨大な自由時間をどう過ごすのか？
- 2) 社会との接点は築けるのか？
- 3) 自分の生きがいとはなんだろう

◇一方で

- 1) 体はまだまだ元気、気力もある
- 2) 今までお世話になった社会への恩返しとして社会貢献をやってみたい
- 3) 年金がはいれば多少の余裕もある人もそれなりに存在する

こういう人々（サラリーマン層が多い）にとって何かきっかけがあれば、自ら大きく変わっていくのではないかという予感がする。きっかけや後押しが必要だ。

その為には誰もが人生後半の生き方を考える学びの場『シニア向け小学校』を立ち上げてみたい。

◇そして、シニア層の意識が変わる事で日本の大きな社会的課題の解決の糸口を見出すことができるのではないか？

- ① 趣味の世界・仲間が広がる事で行動が活発化。経済の活性化に結び付く。
- ② 自分の存在意義を再認識し 社会貢献活動やボランティアへの積極的参加が実現
- ③ 地方と連携し、都会人が地域貢献の一環として往来することでそれぞれがWinWinになる

◇シニアは老人とは違う。新しい生き方を学びなおし、これからも社会の中核の一翼を担う！若者に任せるばかりでなく、まだまだ元気で体が動くシニアが現役世代と共に社会を支え、日本型の新しい社会の仕組みとなる事を目指していく。その担い手として情報の透明性を確保し、公益性を担保しつつ地域・地域で新たな役割を果たしていくNPO法人「シニアも社会を支える国へ」を設立する。

2024年11月29日

法人の名称 特定非営利活動法人 シニアも社会を支える国へ

設立代表者 稗田 政秋